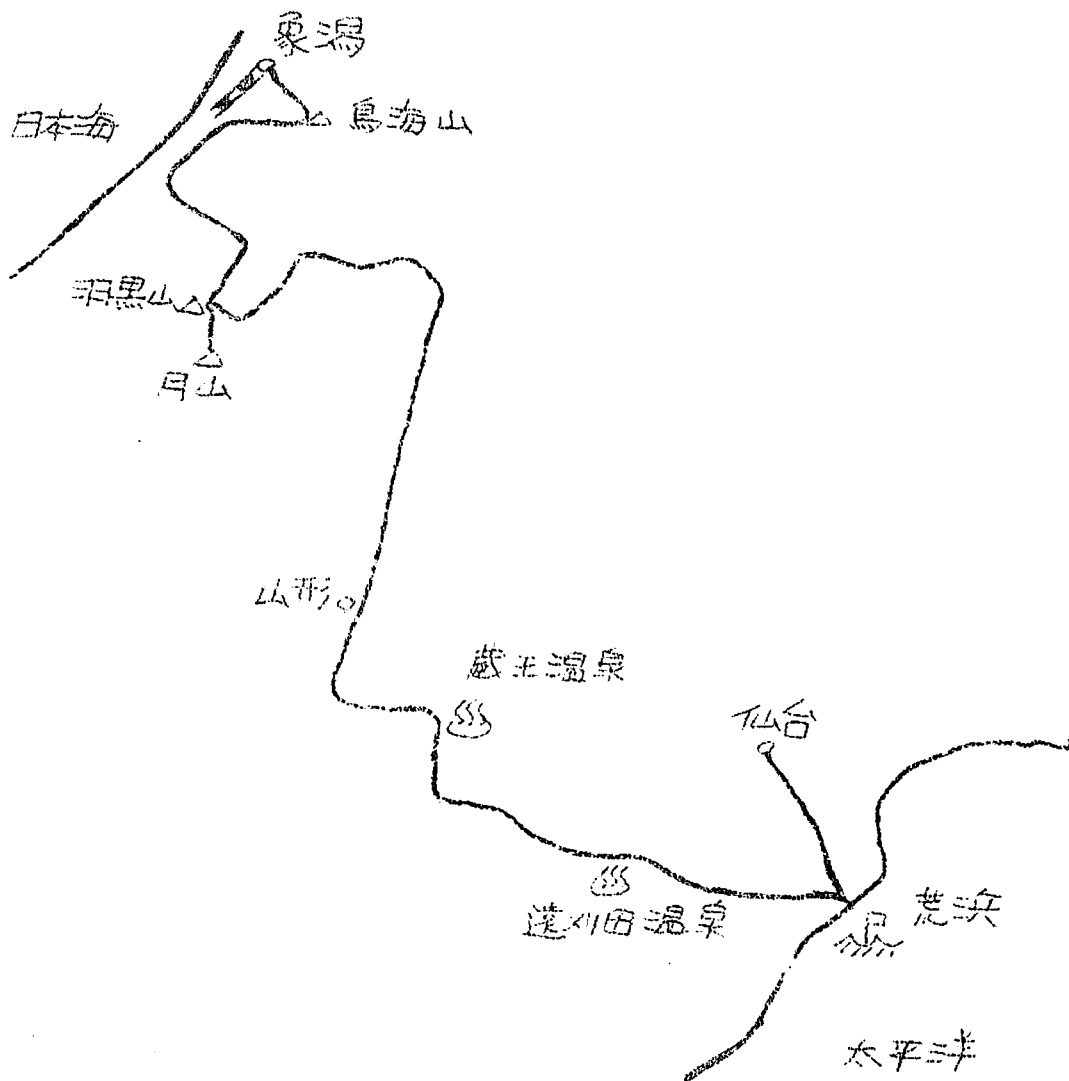


# 夏合宿

—山形ごもり班—

3年 鈴木真人

我班のコースは次のようであった



同行者は 4回生の古木登さん, 1年生の嶋信夫, 同. 村瀬健 である。日程は, 7月29日~8月9日である。これでは日程にそ, 2話をすすめるでしょう。

7月29日(日)

東京 ~~—————~~

いよいよ出発である。上野駅より鳥海山のふもと象潟に向かう。例のごとく夜行列車だ。ところが列車はぼろいし。村頭はのんびり来るしもう頭にくるわ。

7月30日(月)

~~—————~~ 象潟 ————— 鳥海山5合目

象潟に着いたら、空はどんよりくもり空だし、寝不足で眠いし。とにかく「あ〜あ」という感じ。だからPOWERが出るわけがない。鳥海山のうりは風が強くて寒くて最低。

とにかく早く  
上まで行こう
なんとか乗っ  
て行こう
風が強くて  
押して行こう
もう合宿やめて  
帰ろうかな

という感じの会話であった

(会話についてあえて名前を出さまいが、各自推測してほしいものである)

7月31日(火)

鳥海山5合目(に居ただけ)

この日は予定では、鳥海山登山であった。がしかし山はガスだらけ。登山をんかしたら死しかるいな。その上 最悪のこと

が起きてしまった。永見たちのグループに追いつかれてしまったのだ。あっけにとられる我班、それを見てニコニコしている永見、山口、青藤、三井、吉田。けど我班にとってひまかつぶせで良かったと言。まあこう。

8月1日(水)

鳥海山と合目——酒田——羽黒山(国民休暇村)

結局ガス、たまたまであったので登山中止。出羽三山へ向かうことにして下山や。それにしてもこの合宿で鳥海山の全容が一度も見えなかった。畜生！上ではガスだったのに下では良い天気。暑い曇りともんじゃ有り。村道はカセットを南までから走るし。俺の足はだるいし。嶋は先に行っちゃってしまっし。古木さんは元気そうでもうこの先が心配であった。とかやんとか。かんとか言いなから羽黒山国民休暇村へ着いた。あ～よかった

8月2日(木)

国民休暇村——羽黒山(参拝)——国民休暇村

この日も天気あまり良くなく、羽黒山へ参拝に行く。羽黒山の階段は急で、雨で濡れられてすべりそう。そのかいあって五重塔のすばらしかったこと。もう一同感謝！

この国民休暇村は居どころがよく連泊をまあ楽しめた。もちろんテニトであるよ。さて、鳥海山かだめだったのが月山に登ることになりました。これも天気しだいですが、この登りも

についてですが、お合目までは道があり、バスもお合目まで行  
くという。そこを出た意見は

とにかくフリーラニ葉痛が  
自転車でお合目まで行こう

バスで行ま  
たいな!

と一人だけ軟弱な人だよな。結局、自転車で行くことになる、た

8月3日(金)

国民休暇村 ——— 月山山頂 ——— 国民休暇村

この日は快晴! 予定出発だ。とにかくお合目まで上りオニリー  
各自マイペースで行く。と皆の期待を裏切、2鈴木くんトップ  
でぶっちぎり。やった〜

月山登山はおもしろかった。山頂まで往復3時間ぐらいいい  
運動になる、たし。けし玉がすばらしか、たく(山頂ではガス)  
鳥海山は登れなかったか月山に登れ良かった

8月4日(土)

国民休暇村 ——— 尾花沢 ——— 山形

この日はまた天気が悪い。もう信じらんないよ〜 この日の  
予定は尾花沢のあたりのキャンプ場があった。しかし尾花沢に  
着いたのは昼ごろ。そこで山形まで無理して歩くことになる。た  
走行パターンはトップ鈴木そのあと嶋、村瀬、そして古木さん  
の順である。この日はもう走った。走った。100kmほど走る走

りに一同あせん、山形で民宿にとまるらと思、くも民宿をんく  
ない、しかたなく素泊まり〇〇〇〇円に泊る、夜はリンチにキ  
ャパレーへ行、た人はたぬもいさか、た、天気は雨じゃ

お月5日(日)

山形 ——— 蔵王温泉

朝 起きとみると雨であった、とにかく蔵王に行かぬげ、こ  
の日の上りとは一年生コニビに上級生はかるくぶちぎらぬ  
しまった、蔵王温泉はエヌがに観光地、人がたくエんいた、そ  
して見渡すと斜面にはリフトがいっぱい、すげえや、温泉とい  
うだけあってイオウのにおいがする湯があった、

このころからはたしてお釜が見えるか否か心配にち、てまた  
もし見えんかったらどうしよう、たら ~~~~~

お月6日(月)

蔵王温泉 ——— お釜 ——— 遠刈田温泉

あ、晴れくる、こゆちからお釜が見ゆとらだ、というわけが蔵  
王ライン、蔵王エコーラインを走る、ここでも鈴木くん得意の  
ぶちぎりが出たしまった、すみません古不せん、お先に

とて運命の一時、見えた、お釜が見たぞ！バニガイ？  
お釜は全く不思議な色をしていた、永見、山口、斎藤、三井、  
若田、今度行ったら見るといいね？

土之下りた、皆、車もかまわぶぶち抜いていく、すおか自転

車というところだ。この日の宿泊地の遠刈田温泉のキャンプ場  
が〇〇学園の夏しのりどこちほ河原の工手の上さわびしくテ  
ン張る。この日の夜は天気が悪く雷だ、たらしい

グー  
グー

スー  
スー

グー  
グー

ヒュー雷だ  
思いよう

と、ひとり占めせんだけがその恐しさと誇り、こいた

8月7日 (火)

遠刈田温泉 ———— 荒波

今日はいよいよ太平洋が見えるというのたまた雨 もうい  
やだ雨は、雨の4号線並仙台に向けとびた走る 仙台の近くの  
波というところで荒波に行くことにする 荒波に着くとうじ、こ  
いと晴れてきた。明日も天気が良さそうだが、よし荒波で宿泊  
だ。明日は海水浴&日光浴や この夜は華麗なる花火大会であ  
った

8月8日 (水)

荒波 ———— 仙台市街(夕:七夕見物) ———— 表波

この日は朝、日の出から上天気、寝不くんな日の出とともに  
起き日光浴、久しぶりに天気が良く香、上手だん 海水浴場  
と言っているから実は波が強くて泳いではいけ<sup>ん</sup>な所々のどしめた  
く水あそびするのみにとどまり、ひたすら日光浴をする 前日  
までは、松島へ行こうという案もあったがあまりに天気がいい

のぞやめ、古木さんはたしめんうかれしきう顔としていた。この日はかりは 天気の悪かったことも忘れ之楽しい一日を過ごした。夕オ近く バスで仙台市街へ仙台セツを見に行くことになった。仙台セツは、すばらしいという話だ、たが行、こみこがっかり、つまらぬいなんともんじらぬい、仙台の人には悪いがたいしたことにはなかつた。バスにせうかく乗、こり、たのに。

8月9日(木)

荒巻 ————— 仙台 (打ち合げ)

今日はいよいよ打ち合げだ。荒巻、た合宿も今日で終わりだ。朝 早々にデニムをたたんで仙台へ荷作りをした。そうしているうちにもう昼近くになる、た、このころから駅前にてTTCのクラブ員が集まり始められた、打ち合げの時間になった。しかし、西口、三浦たちの班がまた乗りに来る。どんくさいやつらや 夜は旅館の少ないわしにがまんしりながら11時すぎまで合宿の話をし、たしめん有意義であった。本当に楽しい打ち合げであった。

以上で合宿の話は終るとあるが、いろいろと感想を述べてみたいと思います。

まず今日の合宿が4人で行るわけだ。このことはたしめんがかったと思、こりる。古木さんもそう言、こりた。4人という

人数は テニスは1つずつで済むし、走る時も4人ほどと乗●●だし  
相談するにも適当な人数だと思う。

次に天気についてとあるが今回の夏合宿は低気圧が東北地方  
にとどまり、それのために雨の連続だが、かりにせられたことも  
あ、たか、それなりに楽しいこともなか、たとは言えるのだろ  
う、それだけに農業道の1日はたいへん楽しいものがあった

くだらまり話だけど 古木さんと普音があつた話を聞きそ  
うにしていくと一年生コンビはただ固いというだけだ、何も言  
おうとしない、質問してもわからないような顔をしていくだけ  
で、わか、それなのかどうかわからない、上級生として一言  
言わせてもらおうと、もっと一年生どもとどんどん会話に参加して  
ほしいと思う、それに古木さんは普音のことを、なにかあるに  
ついで「バカ スズキ」と言、それだ、これはあんまりである  
これは普音が子で本当にバカの子である、一年生ども  
普音のことをバカだと思、さしうとはないか、これは人権無  
視であると思う どう思いますか 旨哉ほ？

そういえば古木さん、国民休暇村の女子トイレで落ちていた、  
006円入りのサイフはどうしたんでしょうね。

とにかく楽しい合宿がありましたことを報告いたしました。